

1.1 外観検査

a) 検査方法 目視等によって次の点について検査する。

- 1) 本体、ボルト・ナット、連結管等の割れ、腐食、変形、折損、ナットのゆるみ等の有無及び塗装状況
- 2) シール部の発錆の有無
- 3) 動継手のゆるみの有無
- 4) 回転方向の表示の有無

[解説]

- (a) 外観検査は主として目視によるか、補助的に所要の器材及び工具を用いて行う。ただし、テストハンマ等による強打は行ってはならない。
- (b) シール部とは、軸封部（メカニカルシール、グランドパッキン）をいい、外観検査においては目視が可能なものについて検査する。
- (c) 連結管とは、ポンプの本体とその附属品を連結する管をいう。

b) 判定及び処置

- 1) 欠陥や不良個所がなく、塗装状況が良好なときは合格とする。
- 2) 欠陥や不良個所が認められたときは、その種類と状況に応じて次に示す処置を行い、かつ必要な試験、検査に合格しなければならない。
 - 2.1) 割れ等の欠陥があるものは、その部品を新品又は正常なものに交換するほか、必要に応じ1.6によって分解点検を行う。
 - 2.2) ボルト・ナット、連結管にゆるみのあるものは、これを適正に締め付ける。
 - 2.3) 塗装が剥離して発錆しているものは、錆をおとした後、補修塗装を行う。

1.2 基礎及び据付状態の検査

a) 検査方法

- 1) 基礎 目視等によって、次の点について検査する。
 - 1.1) 基礎の有害な沈下や割れの有無
 - 1.2) アンカーボルト・ナットやセットボルト・ナットのゆるみ及び腐食等の有無
- 2) 据付状態 目視によるほか、次の点について検査する。
 - 2.1) 接合部のフランジ、ボルト・ナット及びガスケット等の状態
 - 2.2) 配管の伸縮等によるポンプの機能に影響をおよぼす無理な荷重の有無
 - 2.3) Vベルトの張り及びカップリング、Vプーリの芯出しの適否

b) 判定及び処置

- 1) 基礎
 - 1.1) 基礎に有害な沈下や割れがないものは合格とし、有害な沈下や割れがあるものは改修する。
 - 1.2) アンカーボルト・ナットやセットボルト・ナットにゆるみ及び腐食のないものは合格とし、ゆるみのあるものは締め直し、腐食しているものは取り替えるか又は錆落としを行った後補修塗装を行う。
- 2) 据付状態
 - 2.1) 接合部の状態が良好で、ボルトの締め付け状態が適正なものは、合格とする。
 - 2.2) 接合部の状態が不良なものは修正し、ボルトの締め付け状態が適正でないものは締め直す。
 - 2.3) 接続配管により、ポンプに有害な負荷がかかっている場合は、その負荷を除くように配管を改修